



デンカ<4061>、カイノス<4556>をTOBで子会社化



大手化学メーカーのデンカはヘルスケア領域で臨床検査薬やワクチンなどを製造しており、臨床検査薬や医療機器の製造販売を手がけるカイノスを子会社化することで、両社の診断薬事業の競争力を高め、中長期的な成長につなげる。子会社化により、生化学検査試薬や免疫血清検査試薬のクロスセル拡大や原材料の共同調達によるコスト削減、物流機能の合理化などの相乗効果を見込んでいる。

買付主体は買収目的会社のFlowers（東京都中央区）。買付価格は1株につき2285円で、公表前営業日の終値1304円に対して75.23%のプレミアムを加えた。買付予定数は345万4960株で、下限は所有割合44.73%にあたる199万株。TOBによる買付代金は約78億9400万円。買付期間は2026年2月9日～3月25日までの30営業日。決済の開始日は3月31日。公開買付代理人は東海東京証券。

カイノスはTOBに賛同し、株主に応募を推奨している。TOB成立後、同社は東証スタンダード市場への上場が廃止となる。

カイノスの株式21.13%を保有する旭化成ファーマ（東京都千代田区）はTOBに応募せず、TOB成立後の自己株式取得に応じる。取得総額は約97億1300万円。

カイノスは1975年にドムスヤトロンとして創業し、同年に現社名に変更した。1995年に株式を店頭登録、2004年にジャスダック市場に上場（2022年4月に東証スタンダード市場に移行）。